

平成21年度 事務事業シート(建設整備事業)

事務事業名	03大手ふ頭南護岸(補強)整備事業	コード	担当課	企画調整室事業担当
		5082403	連携担当課	(建設部)工事課、港湾工事事務所

1 事務事業の目的・目標(PLAN)

政策の体系	政策名	5安全な港		
	基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
	個別施策名	24海岸保全施設の機能を維持・強化する		
事務事業の概要 (整備場所・期間・規模、 総事業費・事業手法等)		場所 : 愛知県名古屋市港区 期間 : 平成19年度～平成27年度 規模 : 護岸補強453m 総事業費: 19億円 事業手法: 【補助事業】海岸保全施設整備事業(高潮対策) 海岸保全施設の機能を維持するため、大手ふ頭南護岸の液状化対策を図ります。		
根拠法令・計画等		海岸保全基本計画、社会資本整備重点計画		
事務事業の目的	対象 (誰を、何を)	大手ふ頭南護岸		
	意図 (どういう状態にしたいのか)	整備し、海岸保全施設の機能を維持する		
事業着手時点の評価 (費用対効果分析結果、 事業をめぐる社会情勢 の状況、期待する成果 等)		この地区は地盤が低く、防潮壁の周辺地盤の液状化により堤防の機能が失われた場合の影響が大きいため近い将来起こり得ると予想されている東海・東南海地震を考慮した耐震対策を行うことにより、住民及び企業の生命・財産を守ります。費用対効果(B/C)は2.4です。		
活動指標	事務事業の進捗状況を測る指標	単位	算出方法(式)・指標設定の考え方	完成予定年度
	事業進捗率	%	進捗率は、全体事業費を100とした整備費の割合	平成 27 年度

2 事務事業の実施(DO)

事務事業の実施内容 <平成20年度> と 平成21年度以降、シート 作成時点までに変更した 実施内容(ある場合)  (内容は具体的に)		平成20年度は、平成19年度に行った実施設計に基づき、護岸補強工事を20m分実施しました。			
項目		単位	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算見込額)	平成21年度 (予算額)
事業費 a		千円	24,000	76,000	150,000
財源内訳	名古屋港管理組合	千円	14,400	45,600	90,000
	国・県・市	千円	9,600	30,400	60,000
	その他	千円			
人件費 b		千円			
職員数	正規職員	人			
	嘱託職員	人			
	合計	人			
総事業費 a+b=c		千円	24,000	76,000	150,000
活動指標	事業進捗率	目標	1.0	5.0	8.0
		実績	1.0	4.0	
		事業進捗率	1.0	5.0	13.0
		目標			
		実績			
		事業進捗率	%		
備考(補足説明等)		人件費bは事業費aに含まれています。			

**3 事務事業の検証<平成20年度実績>(CHECK)**

<b>総合所見</b>	※実施結果から課題・問題点等を整理します。	
事務事業の改善・見直しの余地	<input checked="" type="checkbox"/> <b>多い</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>少ない</b>	※該当する項目をチェックします。
(所見欄) ※判断理由、課題・問題点等を記入します。  当初計画どおり事業進捗が図られています。		

**4 事務事業の改善(ACTION)**

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> <b>継続</b> <input type="checkbox"/> <b>終了</b> <input type="checkbox"/> <b>休廃止</b>
取組の方向性	<input type="checkbox"/> <b>拡充</b> <input type="checkbox"/> <b>維持</b> <input type="checkbox"/> <b>縮小</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>加速</b> <input type="checkbox"/> <b>減速</b> <input type="checkbox"/> <b>延伸</b>
コスト削減裁量余地	<input type="checkbox"/> <b>有</b> <input checked="" type="checkbox"/> <b>無</b>

今後の改善策等(現実的かつ具体的に) ※個別施策管理シートの判定結果を踏まえ今後の改善策や取組方針を記述します。
引き続き、関係者と調整を図りながら、平成27年度の完成を目指し取り組んでいきます。